

地 域	浪江町	なみえ創成小中学校	小学 5 年生 4 名、中学 3 年生 4 名
日にち	2024 年 9 月 26 日 (木)	時 間	10:25~15:00
事 業	哲学対話		

■ 内容

哲学対話実践授業

【目的】

哲学対話を行うことで、自ら問う力、自分の思いやりや考えを表現する力、仲間とともに探究しようとする力を養う。

【詳細】

5 年生の哲学対話では、【自由】について、対話しました。

道徳の教材である“駐輪場(心の管理人)”を読んだ後、自由の種類について意見を出し、その中で、『自由は必要なのか』『よりよい自由とは何か』について対話をしていきました。

「自分の自由だけではなくみんなの自由を考えたい」「まわりの人の自由をこわさない」など、道徳的な発言もあり、児童たちは緊張せず積極的に意見を述べていました。

中学校 3 年生の哲学対話では、【自分の生活を見直して～スマホに夢中～】について、対話しました。道徳教材を読んだ後、現在どのように SNS を利用しているかを調査し、『何でもスマホを使いたくなるのか』『どんな時に使うのか』について対話をしていきました。

「ゲームなどで、使いすぎると思うが、Google を使って分からないことを調べる事ができるし、天気予報等を検索する事は災害予防にもなる」等の意見がありました。

道徳教育の目標となる“節制、節度”について、道徳的価値に迫るまでには到達していないものの、主体性を引き出す活動として、哲学対話が慣習化している為、意見が途切れる事がなく、自由にのびのびと発表している姿が頼もしく感じました。

等の意見が出され、その後、人と人が争わない社会の理想とはどんな社会か？について議論していった。

研究主題のねらいである「生徒の主体性を引き出す活動」について、話し合いの中で道徳的価値に迫るところまで追求しましたが、最後のまとめまでたどり着けませんでした。しかしながら、全員が、活発な意見を述べ、相手の話を聞く姿勢が身についており、継続的に哲学対話を実施している成果が現れていると感じました。

■ 写真

